

# 平成 26 年北信地方事務所の主な出来事

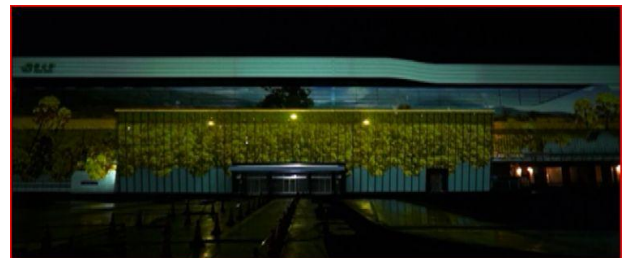
通年

北陸新幹線飯山駅開業に向け、信越9市町村広域観光連携会議が決定したエリア名「信越自然郷」を知っていただくため、様々な取組みが行われました。

エリア内各地で「信越自然郷」を冠にしたイベントが行われ、また、首都圏、北陸、関西圏において観光キャラバンを行うなど、積極的に「信越自然郷」をPRしました。(商工観光課)

8月7日に北陸新幹線新型車両(W7系)の試験走行が行われ、飯山駅に到着しました。その際、開業後の新幹線発車メロディーとなる、地元高野辰之の作詞した「故郷(ふるさと)」が駅構内に流れました。(商工観光課)

8月15日に新幹線飯山駅開業200日前イベント「北陸新幹線飯山駅プロジェクションマッピング」が新幹線飯山駅に投影されました。(幅120m、高さ26mは国内最大級の投影規模)(商工観光課)



11月9日、JR飯山線飯山駅が従来の駅から300mほど南の新幹線駅舎に移転し、営業を始めました。(商工観光課)



JR 飯山線の飯山駅移転開業前日に、長野県森林づくり県民税事業の「信州の木活用モデル地域支援事業」を活用し、県内外の参加者の手により、飯山駅観光交流センター内部の手すりを北信州産の杉で木質化しました。(林務課)

通年

長野県北部地震で被災した栄村で復興に向けた取組みが進められています。

4月24日に栄村民と知事との懇談会を開催しました。災害住宅入居者、畜産業者、観光事業者、伝統工芸職人、移住者、消防団長、復興支援員の村民9名と阿部知事が、地震の時の苦労話、今の状況、栄村の将来等について活発な意見交換をしました。  
(地域政策課)



6月25日に『がんばろう栄村！復興支援コンサート』が開かれました。約700名の村民を前に、杉良太郎さん、伍代夏子さん、コロッケさん、山本譲二さん、田辺靖雄さんが素晴らしいステージを披露し、栄村の皆様にも夢と希望を届ける大切な機会となりました。  
(地域政策課)

25年度に採択された、東日本大震災復興交付金による県営農山村復旧基盤整備事業栄地区の施行が本格的に始まり、栄村菅沢地域の25haの農地の基盤整備工事が着工されました。  
(農地整備課)

6月14日に栄村で行われた北信州植樹祭において、復興記念植樹がおこなわれました。  
(林務課)

通年

北信地域で、新たに自然エネルギーを活用した施設が稼働を始めました。

栄村の北野天満温泉において、地域内で生産された木質チップを燃料とするボイラーが稼働を始めました。  
(環境課)

山ノ内町及び野沢温泉村において、雪氷熱(雪室)を利用した施設が整備され、施設の空調の利用や農産物の貯蔵が開始されました。  
(環境課)

2月

記録的な大雪で、農業用施設に大きな被害が発生しました。

2月14日から16日にかけて記録的な大雪が降り、中野市や山ノ内町でぶどうやさくらんぼのハウス等が倒壊し、大きな被害が発生しました。

(ハウスの倒壊168棟、18.3ha、樹体被害10ha、被害金額7億1千3百万円)

(農政課)



6月～

「信州山の日」の制定を記念し、様々なイベントが開催されました。

6月1日に歌舞伎役者の市川海老蔵さんが、志賀高原にて「信州・志賀高原から始まる市川海老蔵「いのちを守る森」づくり」（海老蔵の森=ABMORI）と称し、植樹を行いました。（林務課）



7月31日の豊かな環境づくり北信地域会議総会において、「登山の歴史と山の魅力」と題して、まみくとい山の会の金井氏を講師として迎え講演会を開催しました。（環境課）

志賀高原ユネスコエコパークが6月にゾーニングの変更承認を受けたことにともない、国内のユネスコエコパーク登録地から集まって意見交換を行う全国サミットが9月19日～20日に志賀高原で開催されました。（環境課）

11月20日～22日に全国小水力発電サミットが開催され、北信管内の施設で、エクスカーション（観察会）が実施されました。（環境課）



7月

「ふるさと信州風景百選」が選定されました。

信州を特徴づける美しく豊かな農村風景箇所を選ぶ、「ふるさと信州百選」に管内の6市町村9か所が選ばれました。飯山市瑞穂の「菜の花公園」には、「ビューポイント整備事業」を活用して、案内板が設置されました。

（建築課）

8月

飯山市木島地区の県営かんがい排水事業が竣工しました。

21年度より実施してきた飯山市木島地区の県営かんがい排水事業は、事業期間5年を経て完了しました。（事業費3億200万円）

8月18日に完成した施設の見学会と竣工祝賀会が地元の湛水防除施設整備連絡協議会をはじめ、飯山市長などが参加し開催されました。（農地整備課）

8月

長野県知事選挙において、投票率最下位を脱出しました。

8月10日に、任期満了に伴う県知事選挙が執行されましたが、全県の投票率は43.56%と前回選挙を9.14ポイント下回り、過去最低となりました。一方、北信管内の投票率は46.90%で4.94ポイントの減少に留まり、市の中で最下位だった中野市、町村の中で最下位だった山ノ内町は、最下位を脱出しました。

これは、住民の皆様が投票に行ってくださいのおかげですが、その陰には、市町村職員、管内の県職員が連携して県の政策研究所による研究を行い、その研究結果を活かしたことも影響しているかもしれません・・・

(地域政策課)



報道でも注目された中野市の  
ゴールデン投票箱&レッドカーペット

8月～

ツキノワグマが大量出没しました。

管内各市町村でツキノワグマが大量出没し、9月11日には野沢温泉村で、9月28日には山ノ内町で人身被害が発生しました。林務課では被害調査を行い迅速に市町村に対し捕獲許可を出すとともに、注意を呼び掛けるチラシをイベント等で配布するなど、市町村、警察、猟友会等と連携しながら被害防止に努めました。

(林務課)

10月

うまいだものコンクールで、管内農家が上位3賞を独占しました。



第47回うまいだものコンクール(シナノスイート)において、北信管内の農家(山ノ内町)が農林水産大臣賞、長野県知事賞、長野県園芸作物生産振興協議会長賞の上位3賞を独占しました。

(農政課)

11月

長野県神城断層地震で震度5弱を観測しました。

11月22日発生した長野県北部を震源とする「長野県神城断層地震」により、中野市で震度5弱を観測しました。幸いにして人的な被害はありませんでしたが、きのこ培養施設における培養瓶の倒伏や、トマトハウスからの重油漏れなどの被害がありました。

(地域政策課)

11月

平成25年度「地域発 元気づくり支援金」事業優勝表彰式を実施しました。

平成25年度に「地域発 元気づくり支援金」を活用して実施された事業の中から、魅力あふれ地域の元気づくりに特に貢献した5事業の優良事例表彰を11月12日に栄村で行いました。

知事表彰を受賞した「小滝復興プロジェクトチーム」の取組をはじめ、地方事務所長表彰を受賞した4団体からも事例発表していただきました。

(地域政策課)